

主な動きのあらまし…………… 企画部統計課

■ 人口(8月1日)

本県の人口は、7月中に3,027人増加し、8月1日現在で2,870,794人(男1,432,980人,女1,437,814人)となった。

内訳は、自然動態で1,110人(出生2,607人,死亡1,497人)増加し、社会動態で1,917人(転入10,801人,転出8,884人)増加した。

市町村別では、増加が18市49町村,減少が2市18町村,増減なしが1町である。

世帯数についても7月中に1,618世帯増加し852,520世帯となった。

■ 賃金・労働時間・雇用(7月)

1. 平均賃金の推移

7月の現金給与総額は、調査産業計で431,161円,対前年同月比6.7%増,このうちきまって支給する給与は281,726円,対前年同月比4.3%増であった。また、このうち所定内給与は251,043円,対前年同月比5.1%増であり,超過労働給与は30,683円,対前年同月比2.5%減であった。

なお、物価上昇を差し引いた実質賃金は、対前年同月比3.3%増であった。

※この地方調査の結果は事業所規模30人以上です。なお、事業所規模5人以上の結果についての問合せにも応じます。

2. 労働時間

7月の総実労働時間は、調査産業計で177.5時間,対前年同月比2.0%減であった。このうち所定内労働時間は159.2時間,対前年同月比1.4%減,所定外労働時間は、18.3時間,対前年同月比7.0%減であった。

3. 雇用の動き

7月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると、対前年同月比0.3%減であった。

■ 鉱工業指数<生産・出荷・在庫>(7月分)

本県における平成3年7月の“鉱工業指数”(昭和60年=100)は、季節調整済指数で、生産が136.6,出荷が133.8,在庫が132.8で、前月比は、生産が4.1%の上昇,出荷が0.5%の上昇,在庫が3.5%の上昇であった。

前年同月比(原指数)は、生産が7.4%の上昇,出荷が4.5%の上昇,在庫が19.4%の上昇であった。

業種別に前月比をみると生産では、食料品・たばこ工業,輸送機械工業,鉱業等が上昇し,石油・石炭製品工業,鉄鋼業,電気機械工業等が低下した。出荷では、輸送機械工業,化学工業,鉱業等が上昇し,石油・石炭製品工

業,一般機械工業,電気機械工業等が低下した。在庫では、石油・石炭製品工業,輸送機械工業,精密機械工業等が上昇し,金属製品工業,鉄鋼業,食料品・たばこ工業等が低下した。

特殊分類別にみると生産では、非耐久消費財,鉱工業用生産財等が上昇し,耐久消費財,その他用生産財等が低下した。出荷では、鉱工業用生産財,非耐久消費財等が上昇し,耐久消費財,その他用生産財等が低下した。在庫では、全てについて上昇した。

■ 消費者物価指数(7月)

平成3年7月の茨城県消費者物価指数(6市平均)は、総合で109.0となり、前月比0.3%の下落,前年同月比3.1%の上昇となった。

今月上がった主な項目……設備修繕・維持1.1%

今月下がった主な項目……果物△7.8%,衣料△4.4%,

乳卵類△2.8%,シャツ・下着△1.8%,生地・他の

被服類△1.6%

生鮮食品を除く総合は108.9となり、前月比0.1%の下落,

前年同月比3.1%の上昇となった。

費目別指数 (昭和60年=100)

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同			対前月	対前年同
総 合	109.0	△0.3	3.1	保健医療	106.1	△0.1	0.1
食 料	108.7	△0.4	4.4	交通通信	104.0	0.5	1.2
住 居	122.2	0.7	4.6	教 育	125.5	0.0	0.8
光熱・水道	92.4	△0.1	2.8	教養娯楽	113.3	0.0	4.0
家具・家事用品	102.3	0.3	2.2	諸 雑 費	107.4	0.0	1.1
被服及び履物	113.2	△2.7	3.3	生鮮食品を除く総合	108.9	△0.1	3.0